



死ぬまでに行きたい！世界の絶景 日本編

著者名	詩 歩	発行年	2014年
出版社名	三オブックス	ページ数	169ページ
値段	1,296円	ISBN	978-4861997051
コメント	世界編よりも、行きたいなあ！ の気持ちがもって現実性をともなって湧いてきます。そうやって「憧れ」という引き出しのなかの絵はがきの枚数を増やしてゆくのは、なんだかうれしい気分。96ページ青々島の全景は圧巻です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント			
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間

2 ☆☆☆☆	大学受験の最中に息抜きに買ったことのある本。 日本ならいけるだろうと思って買ったが結局なかなかいく機会がなく残念。 でもどこに行こうかと悩んだら絶対にこの本がオススメ、			
	1-169	169P (20分)		2017/12/01 23:56:40

りんご ☆☆☆☆	世界編を読んですごく良かったので、日本編も読んでみました。 世界よりお金的にも距離的にも行きやすいと思うので、タイトル通りに行ってみたい！とつよくおもいました。			
	1-169	169P (169分)		2017/12/01 11:58:11

wase ☆☆☆☆	これから日本を旅行するときにはここで紹介されたところに行きたいと思う。 どの景色も素晴らしく、見てみたいと思わせる一冊であった。			
	全部	169P (60分)		2017/11/30 21:01:22

なおみ ☆☆☆☆☆	この本欲しくなりました。自分の旅行の参考に。 一生かけてこの本に載ってる場所をまわっていったらとても楽しそう。 個人的には最初の方に出てきた雪山の写真が好き。吸い込まれそう。			
	1-169	169P (50分)	全部！	2017/11/30 14:33:14

日本人 ☆☆☆☆☆	「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」は行けなそうでも頑張ればこっちは行けるかも。大学生のうちに一つくらい行っときたい。			
	1-169	169P (45分)	全部	2017/11/29 23:56:09

かえる ☆☆☆☆☆	本当にどの写真も美しく、ほぼすべての写真に人の気配がないところも良かった。まだ死ねないという感じがした。風景はどれも天国のようだったが。			
	全部	169P (30分)	どこでも	2017/11/29 18:12:50

--	--	--	--	--

KY ☆☆☆☆	とにかく絶景！絶景！絶景！ でも絶景の紹介だけでなく実際のプランも載っているところが行きたくなっちゃうこの本の魅力			
	1-155	155P (30分)	112	2017/11/29 08:51:21
フランスパン ☆☆	本当に存在するの？と思わせるほど綺麗な景色がいくつもありました。死ぬまでには行ってみたいです。			
	1-169	169P (30分)		2017/11/26 23:39:41
なめしん ☆☆☆☆	頑張ればいけそうな所ばかりなので将来的にいけるなら行きたい！！ でも旅費がヤバそう。。。大学生の間はむりかな			
	1-169	169P (30分)		2017/11/19 16:18:55
Did ☆☆☆☆	最近、昔説明できなかった自然現象を神話に昇華させた、というエピソードにハマっていて、65ページのものもその一つだった。世界編より費用かからなさそうなので、どんどん行ってみたい。			
	全部	157P (120分)	65	2017/11/16 18:47:04
きっしー ☆☆☆	多くの絶景があり癒された。 都会で生活していると感じられないような自然をたくさん見ることができた。ぜひ大学生のうちにいくつか訪れてみたい。			
	1-155	155P (30分)		2017/11/16 12:22:58
成田凌 ☆☆☆☆	日本ってきれいなところたくさんあるんだな。これもまた行きたいところはスマホに収めました。			
	1-169	169P (30分)		2017/11/12 14:54:13
ネオガード ☆☆☆	一番最初に出てきた北海道の青い池を見て現実のものか疑うほどの美しさに驚きその後期待したがここがピークだった。一度行ってみたい。また各絶景への行き方やミニ情報が所々に書かれていてありがたい。			
	1~153	153P (30分)	8~9	2017/11/11 14:59:48
くま ☆☆☆☆	世界遺産以外にも、日本にはたくさんの絶景があるのだなと思いました。特に、沖縄のきれいな海はやっぱりいつかは行きたいですね。			
	1-169	169P (120分)		2017/11/10 10:56:06
こやし ☆☆☆☆	ひまわりが好きなので、表紙で癒された。北海道の満開のひまわり、いつか絶対行って見たい！！ 海外もいいけど、まずは日本巡りしようと思う。			
	全部	169P (120分)	表紙	2017/11/05 23:08:09
Whereabout ☆☆☆☆	日本の絶景がまとまっていて読んでいて楽しくなる本でした。 ここに載っている場所は死ぬまでに一度は行ってみたい。			
	1-155	155P (90分)	104-106	2017/11/05 22:13:19
しろた ☆☆☆☆	写真だけでなくその後の旅行プランのページを読めば、実際に行った時のことを想像出来て非常に楽しい。 ふと旅行に行きたくなった、でもどこに行こうか特に決めてない、そんな時におすすめ。			
	全て	169P (90分)	ばらばら開いて目に入ったページ	2017/10/25 09:44:37
カントリーマーム ☆☆☆☆	ただ絶景写真が紹介されているだけでなく、おすすめの旅行プランやそれにかかる費用まで紹介されていて、本当に好きになりました。特に和歌山、好きになりました。			
	1-155p	155P (60分)		2017/10/24 08:47:42

履修者A ☆☆☆☆	都会にいと忘れがちな「日本はこんなに広いんだ」という感動をもらった。 豊富な解説があり旅行したかのような気分になれる。 絶景もさることながら、最高の瞬間を切り取る写真の魅力も知ることができた。			
	1-155	155P (20分)	29.84,113	2017/10/04 12:15:25

星羅 ☆☆☆☆	旅行好きな人なら読んでいて絶対にワクワクする一冊です！私は沖縄のような南国っぽい雰囲気が好きなので、美しい透明な海の写真が多いページを立ち読みポイントにしました。他にも、花が好きなら088ページ、夜景が好きなら084ページがオススメです。きっと自分の好きな1枚に出会えるはず。写真だけでなく旅行プランなども載っているの で、いろんなところを旅行した気分になりました。			
	008～155	148P (100分)	140～151	2017/09/26 16:50:12

[TOPへ](#)



一度きりの人生 絶対に行きたい夢の旅 50

著者名	高橋 歩	発行年	2014年
出版社名	A-Works	ページ数	240ページ
値段	1,400円	ISBN	978-4902256598
コメント	絶景人気にお応えしての追加です。 ただなんとなくの名所巡りではなく、明確に目的・コンセプトのある旅の魅力。若くてチャレンジングなうちに、ぜひどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
mini ☆☆☆☆	世界にはこんなに綺麗などころがあるのかと思い、人生の中で一度は訪れなくてはもったいないという気持ちになった。具体的な情報も書いてあってよかった。			
	全て	240P (30分)		2017/11/30 20:04:58
なおみ ☆☆☆☆	旅行シリーズの中でもばつぐんに写真が綺麗。3冊とも読んでしまったあたりやっぱり自分は旅行好きなんだなと再確認させられた。 あーもう旅行に行きたいです！春休み真剣に考えよう			
	1-240	240P (100分)	綺麗な写真たち	2017/11/30 17:16:35
マヨネーズ ☆☆☆☆☆	美しい写真だけでなく、旅行の費用・時間などが記載されているのが現実的でよかった。行ってみたいところはいくつかあったが、今はお金がなくていけないので、社会人になってまた読みたいと思いました。			
	1-240	240P (30分)		2017/11/30 13:43:41
yami ☆☆☆	絵だけってすばらしい			
	1~240	240P (10分)		2017/11/30 03:54:58
ネル ☆☆☆☆	旅本シリーズの一つ。この本は文字がそこそこあります。きれいな写真もついていて旅行に行きたくなるような本です。			
	1-240	240P (60分)		2017/11/27 22:21:59
星羅 ☆☆☆☆☆	全然回ってこなかったのですとずっと待ってました。旅本やっとな制覇～！まず絶景シリーズと大きく異なるのは、フルカラーである点です。そのため、説明のページもより楽しむことができました。また、全体的に絶景シリーズより予算が安く組まれている気がします。その他、列車の旅、クルージングの旅、島を借りるなど、新たな視点からの『旅』もあり、大変楽しめる一冊でした！			
	1-240	240P (60分)	01.04.05.48.49	2017/11/17 11:09:51

りんご ☆☆☆☆	旅行に行って綺麗なおところを見ることが好きなので、とても夢が膨らみました。何円かかるのか載っているのも良かったです。もう少し写真があると嬉しかったです。			
	1-240	240P (60分)	34-37ページ、78-81ページ、 122-125ページ	2017/11/12 11:39:20
くま ☆☆☆☆	今まで海外旅行に全く興味がなく、日本の世界遺産ばかりを回る度をしていただけ、この絶景の写真を見たら行かないわけにはいかないと思うぐらい、素晴らしい写真ばかりでした。思わず購入して家で何度も読んでます。			
	1-240	240P (40分)		2017/11/10 10:53:06
TRY ☆☆☆☆	世界中の絶景が鮮やかな写真で紹介されている。それぞれの絶景に行く費用、行き方、オススメ時期なども載っており、旅のプランを立てる上で大いに参考になると思う。特に、南極でキャンプのページはまさに自分も行きたい！という衝動に駆られてしまった。将来是非行ってみたい。			
	1-240	240P (45分)	206-209	2017/10/02 21:57:15
Abe,Shinzo ☆☆☆☆	まさに絶景。ときどき行ける場所が怪しい場所があったけれども・・・笑 ハワイのマウナケアの星景写真は圧巻。。。 標高1万メートルですってよ奥さん。こんな場所で告白したら一発オーケー間違い無しだね（一緒にハワイ行ってる時点でry)			
	1-240	240P (30分)	ハワイのマウナケアの星空	2017/10/01 01:53:26
unknown
 ☆☆☆☆	198ページのアラスカと、206ページの南極に心を惹かれました。昔からアラスカ、ロシア、カナダ、南極のような厳しい環境に興味があり、その中での自然や文化などをよく調べていました。そんな中で、このように綺麗な写真と一緒にこれらの場所を見て感じることは自分にとってもいい経験になりました。			
	1-240ページ	240P (65分)		2017/09/26 15:06:19



フォト・ドキュメント 世界を分断する「壁」

著者名	アレクサンドラ・ノヴォスロフ	発行年	2017年
出版社名	原書房	ページ数	380ページ
値段	3,456円	ISBN	978-4562054183
コメント	写真がダイレクトに突きつけてくる分断のカタチ。なぜこんな悲しいカタチになってしまったのか、ちょっとだけ立ち止まってみていただければ幸いです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント			
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間

どらや き ☆☆☆ ☆☆	第一章の北朝鮮と韓国の非武装地帯についての章だけ読んだ。 写真も多くて分かりやすい解説だった。			
	p.1-73	73P (30分)	第一章	2017/11/03 10:20:58

ドナルド ダック ☆☆☆ ☆☆	本書には投石が止まないためフェンスの上に金網を取り付けた目に見える形での壁の写真が多く載っている。見たことないほどの高い壁である。ベルファストは同じ都市だがそれぞれがお互いの違いに基づくアイデンティティーを持っていることを強く感じた。緊迫状態が目立つのはどの主義か街の色で表している大衆的な地区であるを知り、街の色が統一的呢て考えられない。壁がある限り人生に不幸しかやっこないというのを壁を作っている人に知ってもらいたい。			
	全部	380P (380分)	122-155	2017/11/02 11:45:03

[TOP](#)へ



世界の廃墟

著者名	佐藤 健寿	発行年	2015年
出版社名	飛鳥新社	ページ数	120ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4864103923
コメント	人が去り、建物が残る。それが廃墟。つくった人の意図から全くはずれた雰囲気を感じ出しちゃうところが、おもしろさ、なんでしょうね。 テムズ河口のトーチカ群の空撮が、太鼓の行進みたいで、かわいい。行ってみたいところがありましたか？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント			
お勤め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ああああ あ ☆☆☆☆	立ち読みならすぐに読み終わる。 自分もバラバラと読むつもりが、 廃墟の廃墟に至るいきさつが思ったよりも面白く、時間が経っていた。			
	全部	120P (35分)	全部	2017/11/30 21:26:03
KY ☆☆☆☆	世界の廃墟の写真集。 最初は、なんだ？これは？と言う気持ちで手にとって見たが、実際に見てみるとダイナミックで綺麗な写真が多かった。			
	1-117	117P (30分)		2017/11/30 13:38:02
YA ☆☆☆☆ ☆	廃墟の荒廃感や世紀末のような雰囲気が前から好きだったので、この本はとても楽しめた。高いからなかなか手元にはおけないけど、1冊あったら時々開いて癒されることもできるのかな…。			
	すべて	120P (40分)	全部！	2017/11/29 17:12:08
日本人 ☆☆☆☆	バラバラと流し読みする感じで読み始めましたが、途中から読み入ってしまいました。写真がとてもきれいでした。			
	1-117	117P (45分)	Buzludzhaのところ	2017/11/28 21:38:42
Y ☆☆☆☆	世界中の廃墟の写真集。世界の絶景の写真集とはまた違った味わいを持っている。 人の歴史が感じられるものが多く興味を惹かれた。特に端島は僕的に良かった。			
	1-120	120P (40分)	34-39 端島	2017/11/24 21:23:28
かえる ☆☆☆☆ ☆	廃墟大好き人間なので興奮しました。 人間がいなくなっても生活の痕跡を色濃く残している無機物の塊が最高にエモいです。			
	全部	120P (30分)	どこでも	2017/11/14 10:17:56

B6 ☆☆☆☆ ☆	もともと廃墟には興味がなかったが、この写真集を読んで大いに惹かれた。ついさっきまで生活していたような痕跡があるというのはとても不思議な感覚で、非日常の雰囲気がなかなかたまらない。おすすめはfile8のサトーンユニークタワー。そこそこたかさのあるビルが廃墟として存在していることに驚きとともに興味をかきたてられる。			
	1-117	118P (20分)	40-43	2017/11/12 21:16:52
ひか太郎 ☆☆☆☆	一般の人でも訪れることのできるスポットをたくさん紹介してあった。きらびやかな場所や美しい景色もいいが、廃墟を見て栄枯盛衰を感じるのもいいと思った。写真と共に、歴史も説明していて良い。			
	1-120	120P (50分)	軍艦島	2017/11/10 13:40:27
hand ☆☆☆☆	世界中の廃墟が乗ってる写真集。 とてもありきたりだが、写ってる建物どれもミステリアスで興味が湧いた。旅行が好きなのでいつか行ける機会があると思うと思う。			
	1-117	117P (5分)		2017/11/10 10:43:58
履修者A ☆☆☆☆ ☆	修学旅行で本にある端島に行った時は、「何でこんな廃墟がコースに入ってるんだ」と不満だったが、この本の写真を見て格好いいと思った。錆びとか朽ちがここまで全体的だとこんなに統一感があって美しいんだなあと驚いた。ただ、写真が素晴らしいなので魅力的スポットに見えるが、個人的には実際に行ったらどこも10分たらず帰りたいと思う。写真集で見る位が一番楽しい気がした。			
	1-117	117P (30分)	80-96	2017/10/31 11:06:03
こやし ☆☆☆	様々な理由で廃墟になっているが、それらを見ていると人間の身勝手さがよくわかるような気がした。 54ページのシーゲル駅は近未来感を感じさせ、SF映画に出て来そうだったと思った。			
	全部	120P (30分)	54	2017/10/27 10:51:08
ネル ☆☆☆	世界中の廃墟の写真集。この本は廃墟好きにはたまらないのではないだろうか。自分はそこまで好きでもない(興味はある)のでこの評価。原子力関連の廃墟にはいきたくないな。			
	1-120	120P (100分)		2017/10/25 19:38:18
50 ☆☆☆☆	廃墟の独特の雰囲気様々なことを連想させてくれるのが好きです。 人の生活の名残があり、怖いような何ともいえない空気が写真からも伝わってきて、昔廃墟に友達と忍び込んで遊んだときの記憶がよみがえります。			
	1-117	117P (100分)		2017/10/23 21:40:03
Did ☆☆☆☆ ☆	私が今最も行きたい街の名所の一つである大久野島が廃墟だったことに驚き！残酷な廃墟がよりうさぎの無邪気さを引き立たせている、早く行ってみたい。そのほかにもこんなSFにしか出てこなさそうな所があったのか！とワクワクさせられた。			
	全部	117P (50分)	76-79	2017/10/17 23:23:37
こたつ ☆☆☆☆	読んでいだけで落ち着ける写真集。この本を読むとその地で何が起こったのかいろいろ想像できておもしろい。ただもう少し名所でない普通の廃墟が見たかった。			
	1-120	120P (30分)	30、31	2017/10/17 00:25:45
たたた ☆☆☆☆	廃ってしまったものからしか出せない独特さや圧倒的雰囲気を気軽に味わえる写真集。写真だけ見ても楽しいが、一緒に書かれた解説を読むとそこに至った背景が見え、様々な想像ができてより楽しい。			
	1-117	117P (117分)	76-79	2017/10/03 09:20:24
TRY ☆☆	『世界の廃墟』というタイトル通り、世界中の全26ヶ所の廃墟が多くの写真に収められている。各廃墟にはそれぞれの歴史があり、興味深いものである。しかしながら、実際に廃墟を訪れてみたいという程の魅力を感じず、☆2つとした。			
	1-120ページ	120P (40分)	34-39ページ	2017/09/26 15:18:04



絶対に行けない世界の非公開区域99

著者名	ダニエル・スミス	発行年	2014年
出版社名	日経ナショナルジオグラフィック社	ページ数	255ページ
値段	2,200円	ISBN	978-4863133013
コメント	自然が作りだした絶景に対して、こちらは人が作りだした珍景と言うべきか。人目をはばかる軍事に悪事、地下に潜ることがやっぱり多いですね。 コカコーラのレシピを、警備員付きのごつつい金庫のなかにしまいこむなんて、アメリカ人もお茶目だなあと思っちゃいました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
りゅ ☆☆☆☆	未知の世界というだけでワクワクできる。時間があるときにバラバラ見る事がおすすめ。			
	全部	255P (30分)		2017/11/30 23:46:38
ああああ ☆☆	バラバラと流し読み。 ごくごく一部の人間しか踏み入ることのできない場所について書かれている。 自分の一番面白かった場所はペンタゴンだった。911のテロがこの場所でも起きていたことを知らなかった。。。。			
	全部	256P (40分)	目次	2017/11/30 21:41:20
宇宙 ☆☆	この本を読んで感じた最大の驚きは、エリア51が実在の区域だったということです。ネバダ州に本当にあるんですね、、、宇宙人の研究をしているという都市伝説が有名ですが、実際は空軍の基地なんですね。			
	全部(飛ばし読み)	247P (30分)	エリア51	2017/11/30 09:13:31
日本人 ☆☆	半分くらい読みました。一番興味を持ったのはイエール大学のトゥームです。			
	1-129	129P (50分)	86-87	2017/11/28 21:32:59
painomi ☆☆	バラバラ休み時間に眺めました。 自分は実際に行けるところの写真を眺めていつか行こう！と思うのが好きなので、結局いけないから特に面白みを感じなかった。			
	1-255	255P (20分)		2017/11/28 15:19:09
ドナルドダック ☆☆☆☆	全ページカラーで読み応えがあった。絶対に行けない危険区域でも航空写真は撮っていいというのは驚きであった。チェルノブイリに禁止区域が存在するという部分を読んで、限られた人の住める場所に立ち入れない場所を作ってしまったことは反省すべきことであると思った。			
	全部	255P (150分)	チェルノブイリ禁止区域の部分	2017/11/25 07:22:02

きっしー ☆☆	タイトルに惹かれて見てみたが、思っていたものと違った。 構成は写真とその説明の繰り返しなので、手軽に読めた。			
	1-255	255P (20分)		2017/11/16 12:31:39
柿の種 ☆☆	パラパラ見て写真だけ楽しむのでも十分だった。 でも非公開区域を紹介しているだけで、その中は見れない紹介されていないものが多いので、結構期待はずれ。			
	飛ばし読み	255P (15分)		2017/11/14 10:15:01
かえる ☆☆☆☆	微妙でした。 まあ確かに夜の西9とかも立ち入り禁止だしなあという感じがします			
	全部	255P (30分)	どこでも！	2017/11/14 10:14:37
ネオガード ☆☆	絶対にいけない場所？となる場所や理由が多くなると納得はしづらいものが多かった。 このレベルの非公開区域なら世界見渡すといくらでもある気がする。なぜこれらがピックアップされているのかわからない。伊勢神宮に関しては他のものと趣が違ってて浮いてた。無理やり日本の場所いれた感がある。			
	1~247	247P (15分)		2017/11/11 16:03:45
わんわん ☆☆☆	色々見れるのでつまみ読みがいい感じ。興味のある場所を探してそこを中心に読むと良さそう。文章の内容は都市伝説めいたものもありとある。オススメポイントはお気に入りの2箇所。 『非公開の理由』があんまり理由じゃないのが若干気になる			
	1-247	247P (40分)	36-38, 140-142	2017/11/10 08:48:24
Whereabout ☆☆☆	陰謀論だとかセキュリティー上の問題だとかが色々載っていて面白かった。 暇なときに読む本としては最適では。			
	1-247	247P (90分)	30,31	2017/11/05 22:17:43
バビコ ☆☆☆	パラパラとつまみ読み。映画の世界みたいで面白かった。時間があればじっくりと読んでみたい。			
	1-247	247P (10分)		2017/11/03 09:03:53
アルペン号 ☆☆	読みにくい。文章で強調したいところは太文字とかしてほしい。写真も微妙かつ内容も興味が持てなかった。			
	1-255ページ	255P (40分)	159~161ページ	2017/10/31 10:38:48
どらやき ☆☆☆☆	アメリカとメキシコ間の麻薬密輸のための地下通路やアメリカの最も厳重な刑務所等、私の知らないところばかりでとても面白かった。 解説も詳しくて分かりやすい。			
	すべて	255P (60分)	p.28-29	2017/10/31 10:18:03
ネル ☆☆☆☆	99か所の非公開区域について説明してくれる本。こういう場所ってロマンがあっていいと思います。定番のエリア51から、あまり知られていないあの場所まで幅広くカバーしていると思います。			
	1-255	255P (130分)		2017/10/25 19:20:22
履修者A ☆☆☆☆	見出しに区域の名前と非公開の理由があるため、興味を引くページだけをつまみ食いしやすい。 内容量も2,3ページに1つ紹介していて丁度良いと思った。 写真が良く、非公開地域と言われると行きたくなる、冒険心が湧く			
	1-247	247P (60分)	143-145	2017/10/24 00:04:19
あああ ☆☆☆☆	世の中に絶海をまとめた本は多くあれど、非公開区域はなかなかかなろう。雑学を仕入れられる本だ			

	全部	200P (60分)		2017/10/23 00:24:12
--	----	------------	--	---------------------

Did ☆☆☆	立ち入り禁止の場所ばかりにもかかわらず、中の見取り図が書いてあったり、陰謀論に触れていたり面白かった。唯一正体のわからない場所(210,211ページ)は不気味さを感じた。			
	全部	247P (180分)	220-221	2017/10/09 22:43:47

こやし ☆☆	アメリカに多くの非公開区域があり、流石だな…と感じた。刑務所や密輸トンネルなど、裏側の世界を垣間見られて、ドキドキした。当たり前だが、非公開区域を取り上げているため、一般人が知りたいような事柄は書かれておらず、少々退屈だった。			
	1-145,236-239	149P (90分)	236-239	2017/10/03 09:05:56

cy ☆☆	一般人が入ることのできない場所を写真とともに紹介している。99地点についてさらっと書いてある。その場所について掘り下げて書いてあることを期待していた。			
	飛ばし読み	150P (40分)		2017/09/29 15:45:06

アヒル ☆☆☆☆	世界中から厳選された立ち入り禁止地域をまとめた本。一つ一つの内容が濃くて満足感がある。中でも気になったのは北センチネル島(204ページ)。他の大部分のものが人間の文明が作り出した立ち入り禁止地域なのに対し、これは文明化されてない人間による地域であるのが特徴的で面白いと思った。			
	全部	255P (90分)	55.130.182.204	2017/09/28 12:56:07



絶対貧困

著者名	石井光太	発行年	2011年
出版社名	新潮文庫	ページ数	323ページ
値段	540円	ISBN	978-4101325323
コメント	石井光太さん。私たちがおそらく一生関わらずに「済む」(←この2文字をゴチックとして読んでください)であろう世界を、ここま で深く、たしかに、かつ明確な主張とともに届けてくれる書き手さんを他に知りません。 山室的立ち読みポイントは ・55-56ページ メイちゃんのお母さん ・164ページ 花売りビジネスモデル ・292-3ページ 売春宿の子供は高学歴		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
YA ☆☆☆☆	語り口が軽妙なのでとても読みやすかった。自分たちの住む世界と全く違う世界の人々の暮らしが克明に描写されてい て、筆者の体験が良く伝わってくる。スラムであっても目端が利くものが商売などで上に立つようになるというのは面白い 事実だと感じた。			
	すべて	323P (80分)	スラムの商売	2017/11/26 23:09:16
むし ☆☆☆	絶対的貧困と称している通りの内容。 途上国滞在経験があるが、まさにこの通りだったと思う。しかし、もう少し踏み込んだ内容があればよかった。 以後は、絶対的貧困だけでなく、相対的貧困にも目を向けたいと思う。			
	全部	323P (240分)	無し	2017/11/13 12:24:16
柿の種 ☆☆☆☆	最初の方は知らないこともあったので非常に読みやすかったが、途中から同じような内容担ってきて少し飽きてしまっ た。 途上国の貧困のリアルを描いている作品。			
	全部	323P (240分)	障害児のはなし	2017/11/09 14:36:55
眠り猫 ☆☆☆☆	非常に読みやすかった。 書き方が少し特徴的で講義のような書き方がされている。砕けた言葉の使い方で読みやすい。 内容は、筆者が取材を通して知ったアジアの貧困国家の現実が書かれている。引き込まれはしないが、理解しやすい説 明がされている。			
	1-323	323P (120分)	第一講	2017/10/27 02:12:21
アヒル ☆	特に目新しい情報はなかった。予想どおりの内容だった。			
	1-114	114P (80分)	なし	2017/10/19 13:20:28

しろた
☆☆☆

本書はスラム編、路上生活編、売春編の3つにわかれている。
本書のコンセプトは、日本のマスコミが良く報じる「貧しい生活の中で強く生きる人々」の家庭事情や恋愛などを伝えることであるようだが、それが淡々と描かれているだけで話の起伏がとても少ない。
勉強にはなるが、読んで面白いものとは感じなかった。

1-245	245P (120分)	36-56ページ	2017/10/05 09:34:37
-------	-------------	----------	---------------------

[TOPへ](#)



死刑執行人サンソン

著者名	安達 正勝	発行年	2003年
出版社名	集英社	ページ数	237ページ
値段	700円	ISBN	978-4087202212
コメント	仕事として人を殺す。その不条理をプロフェッショナルとしての誇りを以て乗り越えていった、たくましく家系の男たちの肖像が、じつにいきいきと提供され、ギロチン華やかなフランス革命の奔騰のまっただなかに首根っ子ごと巻き込まれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ネル ☆☆☆ ☆☆	一度読み始めたら止まらない。そんな本です。死刑執行人という現代では考えにくい職業にスポットを当てた本です。フランス革命の裏側を知ることが出来ます。			
	1-237	237P (120分)		2017/11/27 22:23:59
かえる ☆☆☆ ☆☆	妹が、この人がモデルのキャラクターが好きらしいので読んでみました。ひたすら迫害されていたのかと思ったらいい腕の医者でもあったらしく、呪術師に近いものを感じた。			
	1-273	273P (120分)	初めから	2017/11/14 09:56:23
宇宙 ☆	ジョジョに登場するジャイロ・ツェペリのモデルについて書かれた本ということで、興味をもち読んでみました。ところが、序章の最初の部分を読んで、面白くないなと思い、読むのをやめてしまいました。(´▽`)			
	1-28	28P (20分)	序章	2017/11/14 03:26:23
ジョイ君 ☆☆☆ ☆	死刑執行人ということで死神みたいなやつが出てくると思ったら基本普通の人間だった。死刑執行人という役柄疎まれるのは昔でも変わらずしがらみはあるが全員が敵というわけでもなく裁判のシーンではこの執行人に耳を傾けるある意味現代よりも優しい背景が見て取れる。			
	120	120P (180分)	初代の書記	2017/10/30 13:05:58
どらや き ☆☆☆ ☆	死刑執行人というタイトルに興味を持ち、読み始めた。中世のフランスには、死刑執行を代々行う家系があり、ひどい差別を受けていたことさえも知らなかった。改めて現代の日本においても死刑制度を続行すべきかどうか考えさせられた。			
	すべて	237P (90分)	第3章	2017/10/27 08:43:36
パピコ ☆☆☆ ☆☆	歴史裏話？漫画みたいで面白かった。新書なのにすらすら読めた。個人的には死刑制度賛成派だったけれど改めて罪人を殺すということがどういう意味を持つのか考えさせられた。			
	1-237	237P (250分)		2017/10/24 10:43:22

ドナルド ダック ☆☆☆	死刑制度についての議論は普段からテレビでやっているの、その是非を考える機会は多かったが、処刑する側の気持ちは考えたことなかったの、その立場から見える景色について書かれている箇所に特に興味を持った。普段からの修養、覚悟、心構えがない素人は処刑台の上で人を処刑するという強い重圧に耐えることが出来ない。そのため、素人である若者は死刑が執行されギロチンの刃が落下し、首を取り上げ群衆に示そうとした時に、極度の緊張状態に晒されたため脳卒中を起こしてしまったという話が載っていた。 私は死刑制度は死刑囚のせめてもの償いの形としても罪の抑止効果としても必要だと本を読む前は考えていた。しかし本を読んで死刑執行人に必要な精神力は計り知れないものだということに着目するようになった。死刑を行うボタンが複数用意されていて複数の死刑執行人が同時にそれら押し死刑が執行される。これにより皆が自分以外の人が死刑囚を死なせていると思うことで精神的負担を少なくしようという話は有名である。これだけの負担を死刑執行人が持っていることを考えると死刑囚は殺す価値を持つのかという点は疑問に思う。かと言って死刑囚を自殺させることや餓死するまで閉じ込めておくということも倫理的道德にはんしている。私は死刑の価値は遺族に少しでも報復感情を満たしてもらうことのみであると結論を出した。			
	全部	237P (140分)	151-154	2017/10/17 14:07:37

ミス ティール ☆☆☆	序章だけ読んだ。 実話でここまで数奇な人生な家系はいないだろう。時間があれば読んでた			
	1-46	46P (30分)	あんまり読んでないで…	2017/10/17 10:45:47

B6 ☆☆☆	ジョジョの7部の主人公のモデルと書かれた帯に惹かれて読んでみようと思ったが、時間が足りずあまり読めなかった。ジョジョは全て読んだが、そこまで引き込まれるような話ではなかった。というか、よく考えたらジョジョの7部はまだ未読だったので意味なかった。			
	1-46	46P (60分)		2017/10/03 00:10:08



(株)貧困大国アメリカ

著者名	堤 未果	発行年	2013年
出版社名	岩波新書	ページ数	278ページ
値段	760円	ISBN	978-4004314301
コメント	夢の国アメリカのダークサイドのお話。 食べる物とか、身の安全とか、子どもの教育とか、ほんとに基本的なところの土台が、じわじわじわじわ大資本の利益優先によって腐食されていく。 ほんとなか？ 偏りすぎの内容を疑いつつも、きちんとデータとルポの裏付けがあるので、いったん聞いておく価値はあるでしょう。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント		
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント 投稿時間

YA ☆☆ ☆	筆者の他の著作も少し読んだが、この切り口からの見方だけに凝り固まってしまうのでこの本を読んだ後に別の切り口からの本を読んでいるいろいろ考えるといいと感じた。		
	すべて	278P (90分)	3章 2017/11/26 22:34:38

宇宙 ☆☆	日本とアメリカでは政治に対する国民の興味が違うのかなと思いました。なので、少し理解しにくい部分が多かったです。		
	205-254	50P (60分)	第5章 2017/11/14 03:36:12

眠り猫 ☆☆ ☆☆	興味を途中で途切れさせることなく、最後まで読めた。 アメリカの畜産やGMフードの現実には、かなり驚かされた。あれだけ低価格で肉や大豆を販売するにはこれだけのことをしなければならぬのだろう。		
	1-269	269P (150分)	1章 2017/11/03 17:11:05

どらやき ☆☆ ☆☆	高校生の時に遺伝子組み換え食品について調べ、議論したことがあったので、とくに第3章に興味を持った。 一般的には最も裕福な国のうちの1つと言われているアメリカが、なぜ貧困大国と呼ばれるのが分かり、新たな着眼点でとても面白かった。		
	すべて	278P (150分)	第3章 2017/10/20 10:34:36

ドナルドダック ☆☆ ☆☆ ☆☆	筆者はアメリカのことを「国境を越え、徐々にスピードを上げる高波のように、確実に勢力を伸ばしながら、世界をのみ込もうとしている」と表現している。私が特にそうだと感じたのは第2章の巨大な食品ピラミッドでした。養鶏業界では、インテグレーター(統合者)と呼ばれる大企業群が、加工業者、養鶏場を支配下に置き、自らを頂点とした巨大なピラミッドの話に興味をそそられた。工業式養豚場の鶏は体重が25年前の8倍になり、内臓や骨の成長が追いつかず、大半が6週間目で足が折れ、肺疾患になってしまうという現状である。でも効率とビジネス利益という観点で見れば、これはすごい発明となるわけだ。例えばケンタッキーフライドチキンで、12ピースのチキンを買うと、客がレジで払うのは26ドル。ここからケンタッキーフライドチキン社に21ドルが入り、その下にいる加工業者に4ドルが入る。そしてあそこまでの養鶏場には30セントの利益しか入らないという事実には、巨大ピラミッドの頂点にいる大企業の独占力が衝撃を受けた。消費者がいる外部には全くわからない契約という形で大企業は利益を搾取するという奴隷制度のような制度には大反対だが、資本主義社会がこのような企業を成り立たせていると思えば仕方がないとも言える。		
---------------------------	---	--	--

全部

278P (150分)

97-100(ぎゅう詰め飼育の
オーガニックチキン)

2017/10/15 12:11:00

[TOPへ](#)



地方消滅

著者名	増田 寛也	発行年	2014年
出版社名	中公新書	ページ数	243ページ
値段	820円	ISBN	978-4121022820
コメント	新書大賞2015受賞作。 こういうふうには人口が減って、ここから町が消えてゆきますよ。データのかたまりを突きつけて、いかに日本が危機かが力説されます。 やばいやばいと大声で言われると、ほんと？（白目）と返したくなるのが人のつねだけれど、自分のふるさとはいじょうぶかな、と巻末リストをこっそりめくってみたり。 全ページ言ってることは一緒なので、ばらばら眺めて気になったグラフを手がかりにその周辺を読むという濫読読みが向いています。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント			
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間

あああ ああ ☆☆☆ ☆	日本の人口の行く末について述べた一冊。 少子高齢化が進み、日本の人口減がこれから 拍車がかかっていくのは周知であるが 人口推移についてのメカニズムを読むと 知ってる気がしていただけたと気づかされる。 思っているより結構日本やばいよ！って思われる。			
	3章まで	68P (70分)		2017/11/30 21:48:14

TRY ☆☆☆	多くのデータに基づいた分析が行われている。地方出身の一人として、この本を通して色々と考えさせられた。(巻末のデータで、私の出身地の人口が2040年に相当減っていてショック、、、)			
	1-243ページ	243P (180分)	1-10ページ	2017/11/30 03:09:45

ドナルドダック ☆☆	若年女性層が減る地方都市では少子化が続き、近未来で896の地方都市が消滅するという衝撃的な事実から始まる。この問題の解決策として色々な観点から述べられているが、その中でも第6章で挙げられた6つのモデルは具体的な解決策をグループ化して提示してあり理解しやすかった。第1章と第6章にある6つのモデルのところを読めば本の趣旨はわかる。逆に言うと2から5章はあまり必要のない章である。かつての国家戦略の誤りを述べられても一般人は力になりようがない。また北海道の地域戦略も述べられているが、地域別に説明されているので北海道の地理的な知識がないとイメージがつかずあまり話に関心が持てない。 6つのモデルの中の一つに学園都市型があった。地方に大学を置くことで若年層を増やそうというやり方である。しかし、地方は交通の便が悪い、東京に比べると近辺に大企業がない、大学生が遊ぶ場所が少ないといった理由からそう簡単に実行できる手段であると言えないと思った。			
	全部	243P (150分)	11-36 125-139	2017/10/17 14:30:51

Taiga ☆☆	第一に本の体裁であるが、強調表記など乏しく非常に疲れる。論文を文庫本化し大衆向けに仕立てるということは、多くの人に地方都市の問題に関して興味を持ってもらうための施策だっただろうが、本書を通じて興味がそがれる人の方が多い気がする。 第二に本書による問題提起であるが、第一章に簡潔にまとまっておわかりやすい。特に、人口移動による地方の「人口生産能力」の低下という視点は他のメディアではあまり語られていないと思った。 第三に本書の与える問題解決であるが、実現可能性を欠いた夢物語だと思った。特に働き方へのテコ入れに関しては、労			
-------------	---	--	--	--

働時間を短くするという常々みんなが求めているが実現されないことを提唱しており実現できそうにない。問題解決のための問題解決を行わなければならないものばかりである。 しかし、都市を働く場所とし地方を週末に帰る場所にするという提案については面白いと思った。スペインのトレドという古い都市はマドリードにほど近く観光都市として大変人気がある。トレド出身の若者は平日はマドリードで働き安いシェアハウスで過ごす。そして週末になると地元に戻りのんびりと休む。この姿は筆者が提案する像と似ている。しかし、すべての田舎が観光都市としてインフラ整備が十分であるわけではないということは当然忘れてはいけない。			
1-243	243P (200分)		2017/10/14 10:39:22

アヒル ☆☆☆	日本の少子高齢化問題がいかに危機的であるかが、データによってしっかり説明されている本。東京は地方から若者を奪う上に、人口を再生産しない「人間を消費する街」であるという部分は面白かった。(148ページ)ただ、現状分析はしっかりしている一方、解決策の面では現実可能性に欠いた抽象論が目立つ。星3つ。		
	1-206	206P (200分)	55,148,191ページ
			2017/10/12 18:58:38

[TOPへ](#)



里山資本主義

著者名	鎌谷 浩介/NHK広島取材班	発行年	2013年
出版社名	角川oneテーマ21	ページ数	308ページ
値段	781円	ISBN	978-4041105122
コメント	新書大賞2014受賞作。 サブシステム、というところがポイントでしょう。マネー資本主義はダメ、里山資本主義がいい、という主張では全くなくて、お金が滞っちゃった場合も考えて、ちゃんとサブシステムを用意しておく、こんな余録もありますよ、という論調で、いろんな実践例が披露されます。田舎であることを、どうしようずに活かすか。さとやま・・・懐かしい未来へ。ネーミングのうまさも前向き気分を持ち上げてくれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ネオ ガード ☆☆☆ ☆	お金が全てなんだろうという考えを持っていると、驚くような意見が多く述べられている。 里山などあまり身近でない話だったりその逆に身近な話題だったり色々な話がありとても面白かった。			
	1-308	308P (300分)		2017/11/30 18:05:44
むー びー ☆☆☆ ☆	オーストリアの林業がすごい！ 日本も真似できそうだし、興味深いようだった。			
	64-100	25P (20分)		2017/10/31 09:02:30
Did ☆☆☆ ☆☆	マネー資本主義である私(この本を読むまであまり自覚はなかったが)にとっては目から鱗な話ばかり。金を稼ぐためにどれだけ効率よく仕事ができるか、それに必要な機材を大枚をはたいて揃えては仕事仕事。色褪せた私の生活にあらたな価値観をもたらしてくれた一冊。			
	全部	308P (250分)	3-18	2017/10/23 23:04:28
アヒル ☆	一見耳触りのいい地方産業の活性化のモデルケースが描かれているが、所々主張にボロが出ている。真庭市のケースについて見てみると、これは今まで活用方法がなかった木屑を利用できる装置ができたため、それを利用して支出を削減したというだけだ。何処でも行われている技術進歩に伴う生産性の改善で、しかもこれを可能にした発電施設は筆者が忌み嫌っている集積の利益によって生み出されたものだ。自給自足型の経済で新たな進歩を生み出す技術を生み出せるのか良く考えて欲しい			
	1-220	220P (200分)	112.144	2017/10/05 13:11:26

[TOPへ](#)



日本列島の20億年

著者名	白尾 元理	発行年	2009年
出版社名	岩波書店	ページ数	100ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4000057707
コメント	写真がすばらしい。特に空撮。鳥の目でしっかりと山や川が、どんなふうにも地形をつくってきたかが見てとれる。ナンバー20の新雪富士にほれほれ。 解説が、もっと愛想良かったらなあ。できればイラスト入りがあらまほしい。良い企画なのに、そこがホント惜しい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
たたた ☆☆☆	とても美しい自然の写真がたくさんあって見るだけで浄化される。解説が最後にごちゃっと全て書いてあり、写真を見ながら読みにくいのが残念。			
	1-101	101P (60分)	23-24	2017/11/13 23:49:39

[TOPへ](#)

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板



任天堂“驚き”を生む方程式

著者名	井上 理	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	288ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4532314637
コメント	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。 京都の花札屋がいかんにして世界制覇を成し遂げたか？ なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくてイイ、枯れた技術でじゅうぶん」「僕らは役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぼんぼん飛び出していきます。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのとは度力の違う、取材の手あつさがあってこそ。気合いの入ったルポルタージュです。 そして何より、社長の岩田さんが我々が東工大の大先輩……		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
カメハ メハメ ハ大王 ☆☆☆	スーパーマリオをやりたくなった。			
	1-288	288P (350分)	1-288	2017/11/30 23:47:45
パイン アメ ☆☆☆	任天堂の凄さがSONYとの比較等を交えながら語られていてわかりやすかった。 自分はゲームをあまりしてこなかったのだが、DSやWiiを持っていたひとはより深く楽しめると思う。			
	1-73ページ	73P (30分)	24-35ページ	2017/11/29 16:16:14
睡魔 ☆☆☆ ☆☆	一週間返却の関係で途中までしか読めなかったがとても面白い。任天堂の成功の秘訣は特別なことではなく当たり前のことを大切にできるところにあるのだと思った。個人購入して続きを読みたいと思う一冊だった。			
	1-147	147P (120分)		2017/11/27 15:31:36
TRY ☆☆☆	昔よく遊んだDSなどの任天堂の開発秘話がよく書かれている。ゲームという身近な話題だけに、とても読みやすかった。			
	1-304	304P (200分)	17-35ページ	2017/11/21 20:05:35
履修者 A ☆☆☆ ☆☆	先輩でもある岩田前社長の問題解決能力の高さに驚く。 ひたすら頑張る前に、今やるべき事をよく見定めることの大切さを任天堂の成功事例から学んだ。 新体験の魅力の高さが任天堂の成功の要因になっており、大人になっても子供のような柔軟な発想ができるよう、視野を広く持たたいなと思った。			
	1-304ページ	304P (180分)	1-20ページ	2017/11/14 18:08:31
宇宙 ☆☆☆ ☆☆	任天堂が娯楽で人々を笑顔にしようとするアツい魂や精神を感じることのできる本だと思いました。僕らが生まれる前に今でいうVRゲーム機みたいなアイデアがあったことにも驚きました！			
	137-243	107P (100分)	第4章	2017/11/14 03:44:19

成田凌 ☆☆☆ ☆	小さいころ任天堂に入りたいと思ってた実機もあったので読もうと思って読みました。内容には十分満足。マリオ最高。			
	1-288	288P (180分)		2017/11/12 14:57:08

カントリーマ アム ☆☆☆	内容ががつつりあったので読むのに時間がかかりました。小学生の頃たくさん遊んでたDSと、家では買ってもらえなくて友達の家に行った時しか遊べなかったWii、それぞれの発売の裏側が知れて面白かったです。			
	1-288	288P (150分)		2017/11/11 13:08:08

Did ☆☆☆ ☆	最近switchが発売され、ハードよりはソフトで話題になってますね。DSだったりWiiだったり少し懐かしかったのですが、発売当初のことを思い出しながら裏にはこうゆう動きがあったのか...と面白かった。スプラトゥーンやマリオオデッセイもただ面白いものを作ろう、というわけではなく、経営者の確固たる目標のためにリリースされたのかと思うと、プレイする側もその思惑にハマってしまったということが実感できるのではないのでしょうか？			
	全部	305P (180分)	2章	2017/11/05 22:42:32

すぶたん ☆☆☆ ☆☆	ボツ拳の全国決勝大会に出た。負けた。 ありがとう任天堂。			
	1-288	288P (288分)		2017/10/27 10:51:25

星羅 ☆☆☆ ☆	私の家では小型ゲーム機は買ってもらえなかったため、DSは持っていなかった。一方、据え置きゲーム機であるWiiやPS2などは買ってもらえた。Wiiを買ってからはPSはほとんど使わなくなり、それこそドラクエをプレイする時くらいになってしまった。Wiiには、PSにはない家族の団欒というコンセプトが強く反映されていたからだと私は考える。実際、第2章ではいかにして新規性を取り入れるかの議論における任天堂の創意工夫が描かれている。物が飽和している今、新しいものを作る難しさを感じたが、常に消費者を思い、貪欲に毎日の新しさを求める任天堂の姿勢に凄みを感じた。			
	1-304	304P (120分)	67-73	2017/10/27 08:09:25

こやし ☆☆☆ ☆	自分も遊んだことのあるDSやWiiの話が出てきて、身近に感じられた。それらがいかんにして作られたか、それまでにどのような葛藤があったかについてが書かれており、新しいものを開発することの難しさを感じた。 また、山内氏の「娯楽はよそと同じが一番アカン」という言葉が印象に残った。ゲームを作る上で一番大切だが、見落としがちなことだと思う。 任天堂は給与はそれほど多いわけではない。しかし、社員たちにはとても充実感があるように感じられた。自由に開発が出来ること人を喜ばせることに満足感を感じているのだ。給与で就職先を決めてしまいそうだが、充実感を感じることが出来るかということを第一に考えたいと思った。			
	全部	304P (210分)	3章	2017/10/24 11:00:10

少年 ☆☆☆ ☆☆	任天堂のファンなので読んでみた。 任天堂が如何にしてのし上がって来たのか、面白いソフト、ハードを供給し続けて来た所以はなんなのか。非常に興味深い本だった。 任天堂の歴史みたいなことが書かれてるところはあんまり面白くないかも(私は任天堂ファンなので面白かった)			
	全て	311P (300分)	2章、6章	2017/10/19 12:40:27

わんわん ☆☆☆	ゲーム好きなのでもう少し時間が取れたら他の部分も読んでみたかったが、あまり時間がなかったので他の人のコメントを参考に読んでみた。ヒット作が生まれる現場を垣間見た感じ			
	7-13, 108-116	16P (10分)	108-116	2017/10/10 08:36:03

2 ☆☆	任天堂の歴史について詳しく書かれている。気がする？ 内容が具体的過ぎてあまり興味が湧かなかった... ちゃぶ台返しのところは面白いかも、完成間近での仕様変更は開発にとって大変だろうが、より良いものを世に出せることの偉大さの方が上か。			
	1-30.108-116ページ	39P (20分)	108-116	2017/10/03 08:55:32

火に強い	ゲーム業界を牽引する大企業である任天堂だが、DSとWiiの大成功の裏には何があったのか？ というのが説明されている本である。			
------	--	--	--	--

☆☆☆ ☆	立ち読みポイントとして挙げたのは「ちゃぶ台返し」についての箇所だ。 アイコンや名前のネタにするほど私が好きなゲーム「ピクミン」の原案者である宮本茂氏の、社員にとってははた迷惑ともいえる行動が「ちゃぶ台返し」と呼ばれているようだが、その詳細は是非自分で読んで確かめて欲しい。 それでも、こんな上司の下で働きたいと思わせてしまうのが、宮本氏と、故・岩田聡氏の凄さなのかもしれない。			
	1-296	296P (300分)	108-116	2017/09/29 09:07:29

アヒル ☆☆☆	任天堂のコンテンツの設計思想について書かれている本。ちよつと出版されてから時間が経っているけれど、学べることは多い。特に、『重要なのは次世代の技術ではなく次世代のゲーム体験』『本来、娯楽って枯れた技術をうまく使って人が驚け ばいいわけです』の部分が印象的だった。当たり前の事を言っているようで、実際にこれが実践できている人は少ないように感じる。グラフィックや演出に傾倒してゲーム性を蔑ろにしているゲームが売上を伸ばしている今のゲーム市場はおかしい と思った			
	1-254	254P (180分)	44-45.49-60.185-193	2017/09/28 16:57:43

[TOP](#)へ



仁義なき宅配

著者名	横田 増生	発行年	2015年
出版社名	小学館	ページ数	318ページ
値段	1,512円	ISBN	978-4093798747
コメント	ホットな話題に体当たり取材。著者の情熱がそのままカタチになったイキのいいドキュメンタリーです。 シェア拡大を最優先したがために、送料無料のワナにはまり、取扱量は増えても赤字がふくらむばかりという泥沼の宅配業界。そこから佐川がいかにも抜け出そうとしているか。 クリックひとつで翌日無料配達という便利さを私たちが享受している裏側がいったいどんなすさまじいことになっているのか、知ると物流の見方が変わります。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ひか太郎 ☆☆☆	運送業はきつい仕事だがそれほど賃金の高くない、大変な業種であると言うが、その実態がよくわかる内容だった。アマゾンのように、一部はロボットが人間に代われる部分も出てきているが、まだまだ人間の力なしには成り立たない仕事だと思う。宅配を指定した時間にはちゃんと家にいるようにしようと思った。			
	1-318	318P (240分)	あとがき	2017/11/17 08:57:10
眠り猫 ☆☆☆	宅配業界の闇の深さが分かる本だった。一度送られてきた荷物に何かの液体がついていたことがあったが、この状況だったらしかたがないことなのだろう。この本を読んだ後だと、たった一度だけで済んでいることが信じられない。 3,4,5章は読みにくかったです。			
	1-316	316P (270分)	第一章	2017/11/14 00:19:16
宇宙 ☆☆☆ ☆	自分はよくクロネコヤマトを利用するのだが、クロネコヤマトに対して不満がたくさんあった。しかし、この本を読んで、宅配をするドライバーの苦労が分かったため、今度からは些細なことでもクロネコヤマトに対してイライラするのはやめようと思った。			
	1-310	310P (120分)	第六章	2017/11/03 01:22:41
あああ ☆☆☆ ☆	アマゾンのヘビーユーザーとしては読んでおこうと思った本。 文章としては同じことが繰り返し書かれていて若干飽きるものがあった(ヤマト・佐川・日本郵便を図表にして表せば一発なのになあ) しかし実際の同行レボなど著者の体当たり具合はひしひしと感じた。誰かが便利さを享受すれば裏でつらい仕事が増えているという当たり前のことを確認させてくれた本			
	1-318	318P (150分)		2017/10/29 12:19:44
どらやき ☆☆☆	この筆者は長年宅配便業界について取材しており、直接取材させてくれないときは実際に宅配便の現場にアルバイトとして潜入しており、リアルな状況がよく伝わってきた。			
	すべて	318P (120分)	第7章	2017/10/25 20:11:38

星羅 ☆☆	同じような内容のことを長々と書いてあるので少し退屈に感じました。主な内容は現在の宅配会社の現状なのですが、まあそれはそうだなあという感じでした。ただ、四章の『ヤマトはいかにして「覇者」となったか』では、企業の低迷打破をする際に参考になるようなことが書かれていて面白かったです。客層を絞り特化させたり、B to Bを提案したり、様々な方法があるんだなと実感しました。			
	1-318	318P (300分)	135-168	2017/10/13 08:47:14

イワシ は舞い 降った ☆☆☆	送料無料に慣らされた消費者がダンピングに加担している、というのは、まあ、その通りだというほかはないのだけれど、それはそうと運輸会社側の違法でマチズモブラックな体質改善は運輸会社側の企業努力でなんとかしてほしいとしか……。			
	読了	318P (120分)		2017/10/10 11:04:39

[TOP](#)へ



あのメニューが生まれた店

著者名	菊地 武顕	発行年	2013年
出版社名	平凡社	ページ数	128ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4582634860
コメント	ハヤシライスにオムライス、お子様ランチに担々麺。おなじみのメニューが、いちばん最初に生まれたときは、どんなつもりで、どんな苦心があったのかしら。実際にお店を訪ねてお話を伺ってまいりました。 どれもおいしそう！ おなかのすいた時にどうぞ・・・		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ネオガード ☆☆☆	全ておいしそうな写真とともにインタビューによるお店の声も入っていてとても読みやすかった。 中でも食べたくなったのは小倉あいす。			
	1-128	128P (15分)	48-49	2017/11/30 17:36:25
なおみ ☆☆☆	表紙のオムライスに惹かれて思わず借りました。 高校生のとき、友達の早矢仕くん(はやしくん)に「ハヤシライスって俺のおじいちゃんが作ったんだよ」と言われてずっと信じてたのが、無事嘘だとわかりました。笑 本というより、雑誌感覚で楽しく読める！ うんちくも増やせちゃう。			
	1-128	128P (60分)	自分が美味しそうって思った所	2017/11/30 14:27:00
yami ☆☆☆	おいしそうだったので、料理はじめました。			
	全部	128P (30分)		2017/11/30 03:59:45
KY ☆☆☆ ☆	とにかく全ての料理が美味しそう！ 中でも気になったのがスープチャーハン。 なんでも出来た理由が麻雀をしながら食べるためだとか。サンドイッチと同じですね			
	1-127	127P (30分)	98-99	2017/11/29 08:42:24
こたつ ☆☆☆ ☆	ご飯前に読むでは行けない本。ものすごくお腹が減る。			
	1-128	128P (20分)	19	2017/11/27 18:11:17
どらやき ☆☆☆	お屋前に読んでしまい、とてもお腹がすきました。 かつ丼美味しそうでした。			
	すべて	128P (30分)	全部です！	2017/11/14 18:28:25

かえる ☆☆☆☆	ただ写真を眺めているだけでも心が満たされるくらいおいしそうです。お腹も満たされなくなる……			
	全部	128P (30分)	おいしそうなページ	2017/11/14 10:21:00
がんぼん ☆☆☆☆	写真を見るだけでとてもお腹がすきました。 色んなメニューの発祥の店が紹介されていて、自分も実際に行ってみたいなと思いました。			
	1-128	128P (30分)	14-15	2017/11/01 20:51:43
cy ☆☆☆☆	今年の夏休みに帯広の豚丼の名店ばんちょうに行った。本当においしかった。その美味しい豚丼を出す店にこんな歴史があったのかと驚いた。自分が行ったことのあるお店があるとより楽しめる。			
	全部	127P (40分)	68ページ	2017/10/21 12:28:43
ひか太郎 ☆☆☆☆	味噌ラーメンが美味しそうだった。日本人に馴染み深い味噌をラーメンに使う、体の良い食品として発明されたそうだ。			
	1-128	128P (30分)	95	2017/10/20 10:24:00
Did ☆☆☆☆	寝る前に読んで、無事飯テロの被害者になった。 知ってる店も結構あり、メジャーな食べ物の元祖を紹介していく形であったが、スーブチャーハンなるものを初めて知って美味しそうだなあと思った。忘れられない。誰か一緒に食べに行きましょう			
	全部	127P (75分)	98,99	2017/10/17 23:27:30
星羅 ☆☆☆☆	ハヤシライスは林さんが作ったからハヤシライスなの？ 答えが気になる人はぜひ読んでみてください。ハヤシライスから始まる日本のレトロだけど今でも人気のメニューがずらり。どのようにして今の形が完成したのか、由来は何か、なんでこの形なのか、おばあちゃんの知恵袋じゃないけど、今でも人気の秘密は昔の人の工夫にあるんだなと思いました。			
	1-127	127P (60分)		2017/10/17 09:21:52
こやし ☆☆☆☆	メニューの成り立ちが説明されるが、それよりも写真が美味しそう。どのページを開いても、飯テロを食らうことになる。深夜は注意かも？			
	全部	127P (120分)	18	2017/10/10 18:43:59
パピコ ☆☆☆☆ ☆	美味しそうな料理の写真が発祥店の紹介と共に載せられている。実在に足を運びたいくなる一冊。			
	1-127	127P (10分)	6	2017/10/03 10:38:13
アルペン号 ☆☆☆	誰もが知っている名店がズラ～と並べてある。 いくつか行ったことがある店もあり、美味しかったなと思い返した。			
	1-127ページ	127P (20分)	p46~47	2017/10/02 13:14:36
履修者A ☆☆☆☆	いろんな料理の生まれた背景が書いてある。 メジャーな料理ばかりなので食べる度に思い出して味わうことができてよい。 他人に話すときはうんちくにならないよう気を付けないといけな。			
	1-120ページ	120P (30分)	50-51ページ	2017/09/26 10:13:54



トトロの住む家

著者名	宮崎 駿	発行年	2011年
出版社名	岩波書店	ページ数	93ページ
値段	2,300円	ISBN	978-4000257978
コメント	家と、樹々と、人とが寄り添いあって、ゆっくり年を重ねてきた、そのたずまいに、宮崎監督のおともをして、ほんのつかのま、おじゃまさせていただきます。 この明るい板張りの縁側では、どんな少女たちが桜のつぼみを数えたのだろう。 この節くれ立ったエゴの木は、どんな腕白坊主がよじのぼったのだろう。 写真とイラストからご自由に、いにしえの息づかいを蘇らせてください。 あ、トトロめっけ！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
りゅ ☆☆☆ ☆		全部	93P (40分)	幼い頃に見たトトロのアニメを思い出すとともにその頃の思い出で思い出してとても懐かしい気持ちになった。宮崎駿作品が好きな人にはおすすめ。		2017/12/01 00:01:59
Z ☆☆☆		全部	93P (30分)	ジブリ映画のトトロが好きなので読んでみましたが、実際のトトロにはトトロの家に似た家の紹介でなんか予想してたものと違いました。でもそれなりには面白かったです。		2017/11/30 23:26:05
mini ☆☆☆☆		全て	93P (30分)	やっぱりこのジブリの温かい感じは好きだなと思った。ただ他の人も書いているけど、何か思っていたのと違う感があった。		2017/11/30 20:06:50
ハイン メ ☆☆☆		1-93ページ	93P (30分)	綺麗な絵と写真がたくさんあって、読んでて幸せな気分になれる本。特に緑に囲まれた風景を描いた絵が素晴らしかった。	8-9ページ	2017/11/29 16:46:13
パンナ コッタ ☆☆		1-45	45P (20分)	「トトロの住む家」じゃなくて、「トトロの住んでそうな家」の特集です。ジブリの作品の元になってるものだと思って手に取ったので、少し残念です。	p28	2017/11/29 16:15:33
むし ☆☆☆		全部	93P (40分)	非常に味わいのある作品だったと思う。タイトルのトトロの住む家が表すように、トトロが好んで住むんじゃないかと思わせる情景でした。光の描写がとても良かったと思います。		2017/11/27 21:56:27

ドナルド ダック ☆☆☆☆	かつてトロが好きだったので手に取って読んでみた 宮崎駿の価値観が書かれていて、宮崎駿ファンとしては興味深い一冊になった			
	全部	93P (70分)	70.71	2017/11/25 07:24:40
ドナルド ダック ☆☆☆☆	かつてトロが好きだったので手に取って読んでみた 宮崎駿の価値観が書かれていて、宮崎駿ファンとしては興味深い一冊になった			
	全部	93P (70分)		2017/11/25 07:24:14
こやし ☆☆	東京に映画に出てきそうな家々があったことに驚いた。散歩するのが苦手だけど、こういった家がたくさんある街中ならウキウキしながら歩けそう。トロもうちい現れて欲しかった…笑			
	全部	93P (60分)	28	2017/11/08 20:35:12
びよん ☆☆	予想していたような内容とは違ったが、それはそれで面白かった。 宮崎駿という人間の家に対する見方、考え方が描かれていて、良かったと思う。			
	1-93	93P (30分)		2017/10/31 09:01:57
Taiga ☆	私はトロファンではないが、文字が少ないと信じて手に取ったところ意外と文章量が多くて失敗した。トロの家に対応する実際の物件を紹介することに関して特に面白みも感じなかったし、むしろやるべきではないと思った。芸術作品の尊さの一つは統一されない像にあると思う。トロの家は視聴者それぞれが具現化すればよく、このような本である種の答えを提示するのはいかがなものか。と、熱くなるほどの本でもない			
	1-93	93P (20分)		2017/10/17 18:17:28
50 ☆☆	トロの世界について書かれているものだと思っていたが、 世界観についてや、モデルとなった環境について写真付きで書かれていた。			
	1-96	96P (60分)		2017/10/13 20:32:00
Did ☆☆☆	トロは出てこなかったけど、不思議な気持ちになった。懐かしいわけではないけど落ち着く安心感。久石譲のコンサートの音源を流しながら読んだけどそこまでマッチしなかった…			
	1-93	93P (45分)	16-23	2017/10/13 13:08:30
アルペン 号 ☆☆	コレジャナイ感が強い。昔語りしているおじさんの本、ただそれだけ。			
	1~93ページ	93P (30分)	66~77ページ	2017/10/13 10:44:55
ウルトラ マン ☆☆	過去の風景や建物や人と物を記録した本です。実はトロとあまり関係がない本ですが、読むとなんか落ち着きます。			
	1-93	93P (80分)	26-35、56-64	2017/10/06 17:51:10
星羅 ☆☆	トロの映画に出てくるお家の間取りなどが解説されているのかな、と思って手に取ったのですが、それは全く関係なく、映画に出てきそうな景観のお家を訪問する本でした。建築を勉強していて、自然に溢れる庭が好きな人にオススメの一冊です。私は建築物に対する画期的なアイデアが光る後半に惹かれました！景観を残したいから敷地を公園に、お家を公衆トイレに、なんてなんだか素敵だなんて思いました♪			
	6-91	86P (60分)	70~71,80~87	2017/09/29 17:39:16



Blue-中村佑介画集

著者名	中村 佑介	発行年	2009年
出版社名	飛鳥新社	ページ数	176ページ
値段	3,800円	ISBN	978-4870319226
コメント	いつまでも、夢をみていたいあなたに—— 絵からロックが聞こえてきます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
わんわん ☆☆☆☆	お絵描きはいいぞという気持ちで一杯になる。後半のセーラー服ラッシュエモい。ハイセンスな色使い スカートや髪が背景と一体化する塗り方が好き			
	1-176	176P (20分)	後半の文字付きのとき	2017/11/17 10:45:24
むし ☆☆☆	独特の世界観を持ち合わせているものの、バリエーションがあるように見えない。憂いている人物の絵とともに動物が登場している。 人物の心情に想いを馳せながら鑑賞するのもいいかもしれない。			
	1-176	176P (20分)		2017/11/13 12:27:18
あああ ☆☆☆☆	中村佑介の絵は正直それほど好きではない。しかしまたま目についたので惜りました。 マンガやアニメの絵は2010年らへんからどんどんシンプルな指向になっていると思う。それは流行りであり、しばらくすればまた昔のような傾向、そろそろ吉田秋生みたいな絵が流行らないかな〜と期待しているのだがそれはさておき、そのような中で中村佑介の絵は時代の潮流に合っていると思う。個人的に、彼が人物にパースをつけたイラストを見たい。			
	1-176	176P (10分)		2017/11/10 10:51:14
マヨネーズ ☆☆☆☆	色合いが独特で、色の掛け合わせを見ているのが楽しかった。女子高生が可愛いらしい。			
	1-176	176P (30分)	175	2017/11/10 10:50:06
がんぼん ☆☆☆☆	どこかで見たことがあるような絵があり、見たことがない絵についてもどういうテーマで描かれた絵なのか考えながら見るととても面白く感じました。 とにかくどの絵も綺麗な絵だなと思いました！			
	1-176	176P (30分)	50-51	2017/10/28 00:52:42
こやし ☆☆☆☆	1ページの絵では、女の子の耳にアンブのコードが刺さっていてロックだなと思った。 ほとんどが女の子の絵であり、赤い糸や制服など青春が描かれているように感じた。どれも可愛い絵で、一冊跳め終わる頃にはファンになっていた。			
	全部	176P (10分)	1	2017/10/24 11:12:57

cy ☆☆	前半部分はアジカンのジャケ絵と一緒に曲を聴いたりすると楽しい。スピッツの三日月ロックのイラストも載っている。			
	全部	176P (20分)		2017/10/21 12:34:17
星羅 ☆☆☆	このようなはっきりした色使いなのに、どこか憂いがある素敏な画集だと思います。ひとつひとつのイラストが読者に物語を想起させるので、この絵はどんな絵かな、と色々な想像力を働かせながら楽しめました。個人的には、90-91ページの、横浜に住んでいる女の子と京都に住んでいる男の子の遠距離恋愛っぽい絵が好きです。			
	1-175	175P (20分)	090-091	2017/10/20 10:21:53
Did ☆☆☆ ☆	108ページの女の子たち、おばあちゃんの家に来て、ひまわりの浴衣来て花火見て、とても少女らしいと思いつつ机に目を向けるとそこには缶ビール。社会に出たくない願望なんですかね… ぱっと見意味深な絵もポップな絵柄で、好きに妄想できる絵がたくさん。お気に入りを見つけて、その絵の女の子はどんなお話の主人公なんですか、ぜひ教えてください笑			
	全部	176P (20分)	108	2017/10/18 00:01:50
Taiga ☆☆	全体的に統一されたやわらかい画調で見えて心地よい。題材としては女子高生多いという印象だった。多くの絵は複雑に埋め尽くされており、過渡期である少女の不安定さや創造の豊かさを象徴している印象を受ける。加えて幼い表情と裏腹に下着姿を描くなどカオスを意図的に作り出している。まるで夢を見ているような画集であった。			
	1-176	176P (30分)		2017/10/17 18:11:56
アルペン号 ☆☆☆	絵が綺麗。一つのものに対していろんな見方ができるのが良い。			
	1~176ページ	176P (15分)	74ページ	2017/10/17 16:08:37
たたた ☆☆☆ ☆	よく小説の表紙などでみる「あの人」の画集。パラパラ眺めていても楽しいし、細かいところをよくみても楽しい。小説の表紙の綺麗な絵のイメージが強く、こんな絵も描くんだ、と新たな一面が見られるのもよい。			
	1-176	176P (90分)	39-40	2017/10/17 06:47:44
B6 ☆☆☆	画集というのを初めて読んだ。なかなかいいものだった。特に前半のアジカンのジャケットの絵は見えて飽きなかった。後半も常人には考えつきそうもない構図やものの組み合わせ、配置を存分に楽しめた。			
	1-175	176P (60分)	16	2017/10/15 23:48:32
パピコ ☆☆☆ ☆	本やCDのイラストを描いてる人のイメージでした。144ページの絵が好きです。			
	1-176	176P (5分)	144	2017/10/02 11:31:04
かえる ☆☆☆ ☆	前半はアジカンのCDジャケット等で見たことがあるようなメジャーな作品が並んでいる。 一方で後半は線が太めでよりアナログ感のある作品が並んでいる。 作品ごとに奥行きや色使い、テーマや雰囲気が違って見えていて飽きない。			
	1-184ページ(全部)	184P (20分)	どこでも	2017/10/01 17:00:08
ノンリミット ☆☆☆ ☆	『四畳半神話体系』などのイラストを書いている人の初めての画集で、色の使い方がカラフルなのにととてもまとまっておしゃれです。 大学生の頃から長い年月の間にわたって書いた多くのイラストにもかかわらず一貫した描き方が残っているというのはすごいと思った。			
	1-176	176P (20分)	全て絵なのでどこでも	2017/09/29 13:26:26



HERE ヒア

著者名	リチャード・マグワイア	発行年	2016年
出版社名	国書刊行会	ページ数	0ページ
値段	4,320円	ISBN	978-4336060730
コメント	仕掛けものです。お好きなかは、はまるでしょう。 空間のなかに時間をこんなふうに表示してしまうんで、スゴ技です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント			
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
星羅 ☆☆☆	同じ場所をある一点から見た様々な年代のイラストが描かれている、とても独創的な本である。動物が住んでいたり、原始人？がいたりといったかなり古い世代もあれば、割と最近の出来事もある。しかし、2213のイラストを見てハッとさせられた。私たちもまた、歴史の大きな流れの中では小さな個人に過ぎないのだ。未来から見て現在は過去である。そういう意味で、なにか重要な事に気付かされた気がする。			
	全部	200P (15分)		2017/11/17 11:33:21
たたた ☆☆☆	ページをめくり始めたら止まらなくなる。ページをめくるとに全く違う時代の、同じ部屋が、同じ角度から現れる。ただ一つの部屋を見せられているだけなのに、そこに映る絵のバックグラウンドを想像させられる。たった60分で何億年もの時間をこの部屋で過ごしたかのようなそんな気分になれる。			
	全部	300P (60分)	最初	2017/11/13 23:46:36
こやし ☆☆☆	最初この本を開いて？？？ってなったが、ページをめくりまくるうちに意味がわかってきた。今自分が住んでる場所はずっと自分の家だった訳ではなく、私の知らない歴史を含んでいる。そこでは今は亡き人がある思い出を作った場所だったり、大昔には動物が住んでたり…。そして、これからも新たな歴史が築かれる。15分で新たなものの見方を身につけたような気がした。			
	全部	50P (15分)	10回くらいめくる	2017/10/31 19:04:09
アルペン号 ☆☆☆	絵本だけど絵本ではないという新感覚の本。時系列だけ書かれているので、どこからでも読める。この本は同じ空間の出来事を重層的に感じることができた。			
	全部	50P (30分)	立ち読みという概念はこの本にない	2017/10/25 08:52:39
Taiga ☆☆☆	人の儚さを表す驚異的な絵本。人は昔から人生の虚しさを語ってきたが、気が付くと自分が世界の中心あるいは悲劇のヒロインになった気分になってしまう。しかし我々個人の人生など地球の寿命でみれば一瞬のできごとでありそこに価値などない。仏教はこの世は空であるといい、平家物語は諸行無常と表現した。ビートルズはall thing must passと歌う。HEREは2年後にあなたはその場所に帰ってこないかも知れないし、10年後には知っている建物もなくなっているかも知れないと描く。30億年前に何があったか気にする者も、20000年後何が起こるか気にする者もない。これを読んで私が何が言いたいのかわからない。1時間かけて書いたコメントも数週間もすればなくなる。じゃあわからなくなっていくか。そういうことだろう。			
	1-2(何ページか忘れたけど全部)	2P (50分)		2017/10/17 18:38:13